

行動リハビリテーション研究会主催 Zoomオンラインセミナー

リハビリテーションに明日から使える シングルケース実践・研究デザイン

ここ最近のトレンドとなっている、シングルケースについて、事例を豊富に使用し、臨床での実践から研究方法に至るまで、第一線で活躍する講師陣がわかりやすく解説します。

日時：2022年9月10日（土）10:00～13:00

方法：ZOOMオンラインセミナー

参加費：会員1,000円 非会員 2,000円 学生 1,000円

定員：100名（先着順）

参加登録締め切り：2022年9月5日（月）

プログラム

「シングルケース・デザインを実践現場で活用し、学術誌に掲載する方法」
山本淳一 先生（東京都立大学特任教授，慶應義塾大学名誉教授）

「シングルケース・デザインを用いて支援効果を推定する方法」
鈴木誠 先生（東京家政大学健康科学部教授）

申し込み方法

下記申し込みフォームからお申し込みの上、参加費をお振り込みください。

申込先：<https://forms.gle/uHKHymhSKRF6paZq8>



振込先：みずほ銀行三ツ境支店 普通口座 1675656

口座名：行動リハビリテーション研究会
（コウドウリハビリテーションケンキュウカイ）

※振込名義：振込名の前に研修会日（4桁）の数字を入れて下さい
（例えば9月10日であれば、0910コウドウハナコ）

お振り込み後は、事由に関わらず返金不可となりますのでご承知おきください。
また振込手数料は参加者のご負担となりますのでご了承ください。

問い合わせ先

行動リハビリテーション研究会事務局 koudo_reha@yahoo.co.jp



行動リハビリテーション研究会
Society for the study of Behavioral Rehabilitation

本セミナーは、JST[ムーンショット型研究開発事業] Grant 番号[JPMJMS2034]の支援を受けたものです。

「シングルケース・デザインを実践現場で活用し、学術誌に掲載する方法」 山本淳一 先生

シングルケース実践・研究デザインは、自分自身が行っている介入に効果があるかどうかを常に評価しながら、介入を進めていく方法であり、リハビリテーションはじめ、どのようなヒューマンサービスにおいても、有効に活用していく必要があると考えます。本セミナーでは、4つのシングルケース研究デザイン(反転デザイン、多要素デザイン、多層ベースラインデザイン、基準変化デザイン)について、論文をひとつずつ例示しながら、それらの実施方法をていねいに解説します。また、臨床実践の中で研究デザインを活用するための「準実験計画法」、「効果量計測」についても解説します。明日からシングルケースデザインを用いた実践と研究のスタートが切れるように、実践の進め方やデータ収集の具体的な方法も組み込んだ話をします。

「シングルケース・デザインを用いて支援効果を推定する方法」 鈴木誠 先生

シングルケース・デザインでは、対象者1名の反応を一定期間システムティックに反復計測することによって、個人への支援効果が推論されます。このようなシングルケース・デザインを用いたデータ解析では、(1) ローデータを直接確認できる、(2) 個々のデータの時系列変化が詳細に分かる、(3) 対象者に支援効果をフィードバックすることができるという長所があります。本セミナーでは、臨床現場で計測されたデータを解析・解釈するための方法を丁寧に解説します。中でも、明日からの臨床ですぐに活用できるように、表計算ソフトを用いた簡便な解析方法について紹介します。これにより、現在行っている支援が目の前にいる対象者に対してどの程度の効果を有しているのかを把握することを目指します。

